



43-3 富士乃図 喜久子妃殿下 昭和45年(1970) 紙本墨画 本紙31.4×36.1

妃殿下は有栖川御流の書だけでなく、ご幼少の頃から日本画を嗜まれていた。《菖蒲》は八木岡春山(1879～1941)の指導を受けて描かれた。《富士乃図》は、昭和45年3月9日、光輪閣に児玉希望(1898～1971)を招いて、三宮妃殿下(高松宮妃、秩父宮妃、三笠宮妃)がお稽古をされた折のもので、ほぼ同図様の秩父宮勢津子妃による富士図が御殿場市の秩父宮記念公園に残されている。また、妃殿下は、香淳皇后とご一緒に前田青邨(1885～1977)の教えも受けられており、雁来紅を描いた《吹上御所にて》はその頃の御作とみられる。



43-1 菖蒲 喜久子妃殿下 昭和10年(1935)頃 紙本着色 本紙36.1×50.0



43-2 吹上御所にて 喜久子妃殿下 昭和37年(1962) 紙、鉛筆、水彩 本紙36.5×46.6

- ・各展覧会図録中，作品名や作者，制作年などの表記は，図録発行当時のものです。
- ・三の丸尚蔵館の展覧会図録の著作権はすべて宮内庁に属し，本ファイルを改変，再配布するなどの行為は有償・無償を問わずできません。
- ・三の丸尚蔵館の展覧会図録（PDF ファイル）に掲載された文章や図版を利用する場合は，書籍と同様に¹出典を明記してください。また，図版を出版・放送・ウェブサイト・研究資料などに使用する場合は，宮内庁ホームページに記載している「三の丸尚蔵館収蔵作品等の写真使用について」のとおり手続きを行ってください。なお，図版を営利目的の販売品や広告，また個人的な目的等で使用することはできません。

若梅に撫子——旧高松宮家と伝来の品々

三の丸尚蔵館展覧会図録 No. 62

編集 宮内庁三の丸尚蔵館

制作 株式会社 東京美術

翻訳 横溝廣子

発行 宮内庁

平成二十五年三月二十六日発行

© 2013, The Museum of the Imperial Collections